

## 「美しい村」の未来へむけて

浅間石の石垣としっかりとれた苔の庭に囲まれてたたずむ木造別荘群は、高原保養都市軽井沢のシンボリックな存在ですが、残念なことに老朽化が進んで建て替えられたり、世代が代わって放棄されるケースも多く、替わって小割の別荘地やマンション型別荘が登場して、原風景が破壊の危機に瀕しています。

保有のための制度作りや所有者、購入者の理解と協力のための支援が必要です。また旧軽井沢地区に点在するキリスト教系教会や寺社など、宗教関係の施設は軽井沢の歴史を特徴づける文化財でもあります。

旧軽井沢の賑わいに清々しい水を流し、これに直交するように、深い森に包まれた祈りの空間を配しながら、その交点に居心地の良い小広場（まちニワ）をもうけましょう。こうして野バラとアカシアが点在する「美しい村」の渋い透明を継承し発展して、軽井沢モダンが型になります。

# 旧軽井沢地区における歴史と伝統のデザイン



### 成熟する旧軽井沢通り ①

浅く清らかな水流は、江戸時代に当地に流れていた水路を再生した姿です。細い水の流れは、車両交通を妨げることなく、旧軽井沢通りをくぐります。この水流の導入をきっかけに、まち並みの意匠も改善し、歴史ある旧軽井沢の品格を高めます。



### 賑わいを創出する祝祭プラザ ②

ユニオンチャーチを引き立てる広場は、イベント時には舞台空間ともなります。この教会広場と旧軽井沢通りは接続する街路を拡幅することで回遊性を獲得し、新たな小広場（まちニワ）がその結節点となります。旧軽井沢通りと直交するユニオンチャーチと聖パウロ教会とを結ぶ人々の流れが生まれ、歴史の厚みを感じられる地区へと発展します。



### 別荘地の保全 ③

アレキサンダー・クロフト・ショーが軽井沢を訪れて以来、1世紀余りの年月をかけて築かれてきた静穏な別荘地を、豊かな自然とともに未来へ向けて保全していきます。

